

(仮称)

宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト



みやまえ
取り組み隊
再始動!

宮前区らしいしくみ

「ラウンドテーブル」を お試し実施しよう!

ミーティング3

宮前区らしい

ソーシャルデザインセンター考えよう

令和4 (2022) 年 3月 13日 (日) 13:30~16:30

参考資料

CONTENTS

<テーブル1>

1-1	テーブル1_MTG1_まとめ	2
1-2	ミーティング2まとめ	4
1-3	町内会作成のまとめ(12月22日資料)	16
1-4	町内会作成当日アンケート	18
1-5	公園の活用について	23
1-6	宮前公園活用ガイドライン_チラシ	24
1-7	宮前公園活用ガイドライン	25

<テーブル2>

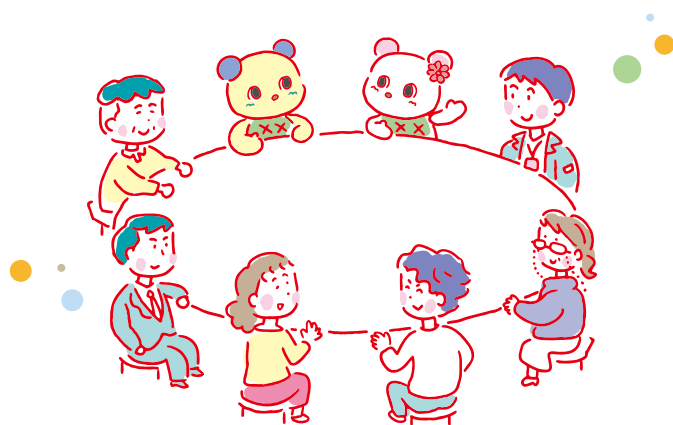
2-1	テーブル2_MTG1_まとめ	26
2-2	ミーティング2まとめ	29
2-3	自動車文庫紹介資料	36

<テーブル3>

3-1	テーブル3_MTG1_まとめ	39
3-2	ミーティング2まとめ	41
3-3	第2回コジマルシェチラシ	46

<共通>

4	ラウンドテーブル効果検証アンケート結果	47
5	公共施設の地域化アンケートの結果	77



公園 × マルシェで
「拡大まちかどシェア」

※本内容については発言をまとめたものとなります。
※記載内容の正確性について、確認されたものではありません。

② プロジェクトについて知ろう！

プロジェクトの経緯・公園活用のノウハウ

【まちかどシェア開催の経緯】

- 宮前区には様々な活動をしている人がいるのに、
知られていなくてもったいない！と思った
⇒活動の場を確保したい、皆さんの持っているものを見せたい！
⇒お披露目する場として公園が良いのでは？と思った
- まず道路公園センターに相談した
⇒公共的な意味合いを持ったものでないと使えないし、
町会の方が今管理してくださっている（清掃や木の剪定など）
ということを知った
- 市民館の講座も活用
⇒市民館の公園を使ったコミュニティづくりに関する講座に参加
市民館の担当へ相談したところ、道路公園センターへ声をかけて
くれて、開催可能となった
⇒公共的な活動であると無料、そうでない場合は1,000円かかる
1,000円支払って借りている
- 【町会との関係づくり】
- 公園でマルシェを実施していくうちに、
町会との関係づくりが大切だということがわかった
 - ・（町会の）イベントに顔を出すようにした
 - ・行政（地域振興課）が町会とつないでくれた
⇒町会との関係構築へ
⇒去年の12月に町会とまち倶楽部が、公園清掃の後に
小さなマルシェをやることになっていたが、コロナで延期

やっと
実施できる
ことに！

12月5日
おちば公園
開催予定

公園でのマルシェを通じてやりたいこと・実現したいこと

【解決したい地域の課題】

- まちには資源（活動等）がたくさんあるのに見えていない

【やりたいこと・実現したいこと】

- 公園の徒歩圏内にある資源（活動等）を可視化したい
 - ・いろいろなスキルを持っている方、ガーデニングクラブ、
まじわる、みのり会の方の絵など
 - ⇒イベントを通じて、おちば公園に来られる方に、
こういうまちでこんなことをやっているとなじいなど
思ってもらい、いつかその方たちがプラットフォームの方に
入ってくれるような流れにしたい

まちかどシェアの開催に
向けて困っていること

- ・公園周辺の地域の方
で、手作りを販売
する出店者（プレイ
ヤー）を探している
- ・公園を活用した活動の
ノウハウブックを
つくりたい
⇒手伝ってくれる
人がいるとよい

質問や気づき

Q：出店料はとっているのか？

A：出店料を払うと、自分はその
にお店を単に出している人にな
ってしまうので取っていない。
みんなでその場を作っている
という意識を持ってほしいと考
えている。その代わり利益が上
がった方は1円でもいいので寄
付してくださいと言って、そ
こからチラシ代とか出している。

Q：何をもって成功とみなすか？
どうやって測れるか？

公園 × マルシェで
「拡大まちかどシェア」

※本内容については発言をまとめたものとなります。
※記載内容の正確性について、確認されたものではありません。

③ ラウンドテーブルで話したいポイントを確認しよう

こんな人／メンバーに手伝ってほしいな
(縁の下の力持ちってどんな人?)

- ・ 手作り品を販売する人
- ・ アンケートをとる人
- ・ 記録する・ **写真を撮る**人

協力
できます
す!

- ・ 現場で**外部的な視点で観察**してくれる人 (来場者がどのような会話をしているか等)
- ・ 声掛けしてくれる人 (案内役)

こんな情報・モノがあったらいいな!

作成協
力でき
ます!

- **ノウハウブック**があるとよい
- ・ 開催準備に必要な調整や段取りや、当日の運営で必要なことを集めて、**チェックリスト**のようにした、ノウハウブックがいずれつくると良い
- ・ 他の公園でも同じような取組をしたいという人の参考になるものをつくって、活動の可視化を広げたい

ラウンドテーブルメンバーからのアドバイス

【広報・参加者集めについて】

- ・ ふらっと宮前 (Facebook グループ) に載せるとよい
- ・ 町会に相談するとよい
(掲示板がある、回覧板に載せられる、ポスターも貼れる)
- ・ 若い世代を呼ぶには、PTA、こども会、青少年指導員にも相談・声掛けするとよい

【公園活用について】

- ・ 冒険遊び場については、区民会議ではじまり、宮前区の旗を立てて公園を使っている
- ・ 公園管理運営協議会に声をかけて、道路公園センターに申請する

【記録について】

- ・ 動画で参加者・来場者の声や会場の様子も記録できるとよい

【ノウハウの蓄積について】

- ・ エリアの支配人のような「エリアスーパーバイザー」がいると、エリアごとにどんな活動が行われたか、**情報やノウハウを集める**ことができる
- ・ 入り口に**参加者に声を掛ける**「アッシャー」がいると、参加者にイベントの趣旨や内容を案内できるとともに、どんな人が来たかが把握できる

④ 次回は、

11 / 18 (木)
13:00 ~

宮前区役所 4F大会議室 で
ラウンドテーブルを試してみよう!

(仮称) 宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト
宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

テーブル

1

公園×マルシェで「拡大まちかどシェア」

ミーティング2-1

日 時：令和3年11月18日（木）13：00～15：00

場 所：宮前区役所4階 大会議室

ミーティングの目的

- ・当日の具体的な準備
- ・当日の運営やノウハウの蓄積で協力できることの検討・確認



(1) ミーティング1の振り返り

●まちかどシェアの目的

- ・まちかどシェアは屋外の見える所で資源の可視化することを目的としている
- ・公園・民間スペース・身近な小さな場所が良い
- ・可視化することをきっかけに、新たなつながりづくりを目指している

(2) おちば公園でのマルシェの準備

●当日のタイムスケジュール

- 07:30 雨天の場合、ご近助さん（ウェブサイト）にて延期のお知らせ
- 09:00～10:30 公園清掃（町会）
- 10:00 マルシェ準備スタート（タープ、飾り付け）
- 11:00～14:00 ミニマルシェ！
- 15:00 くらい 撤収
ミニ反省会/振り返り（ボイスレコーダーで録音しておくが良い）

●準備の作業内容（10:00～）

- ・タープを張る
- ・読み聞かせコーナーの設置
- ・ヒーター設置
- ・テーブルの配置（各ブースの準備）
- ・かざり付け
- ・誘導係（自転車の置き場所/交通整理）
→トイレはどこを案内する？
→地域のこと分かってる人がやるのが理想的

●あると良い・必要なモノ

- ・町会のベスト（パトロールなどに使うもの）：誘導係はベストを着ていると良い

●全員：持つと良い外部的な視点とは？

- ・どんな人が来ているか？（年齢、子連れなのか、子どもは何才くらい？）
→どんなマルシェにすると良いかにつなげるため
- ・どんなことが参加者から聞かれるか？
- ・マルシェで達成したい目的を果たせたか？
→町内会・自治会の活動について理解深まったか
→資源の可視化ができたか、つながりづくりができたか

●その他

- ・参加者同士の連絡先を共有する

[当日参加メンバー] 12名（うち5名区役所）

●準備（10:00）から

- ・■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん（～最後）、■■■さん、■■■さん（できるだけ）、■■■さん（公園清掃してから）

●参加者として

- ・■■■さん、■■■さん

●区役所メンバー

- ・■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん

●NG

- ・■■■さん（事前準備お手伝い可能）

(3) 今後のスケジュール

- マルシェ実施： 12/5（日） 【雨天時は12/12（日）】
振り返り： 12/13（月）以降 要調整：辻さんからメールで候補日のご連絡予定

(仮称) 宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト
宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

テーブル

1

公園×マルシェで「拡大まちかどシェア」

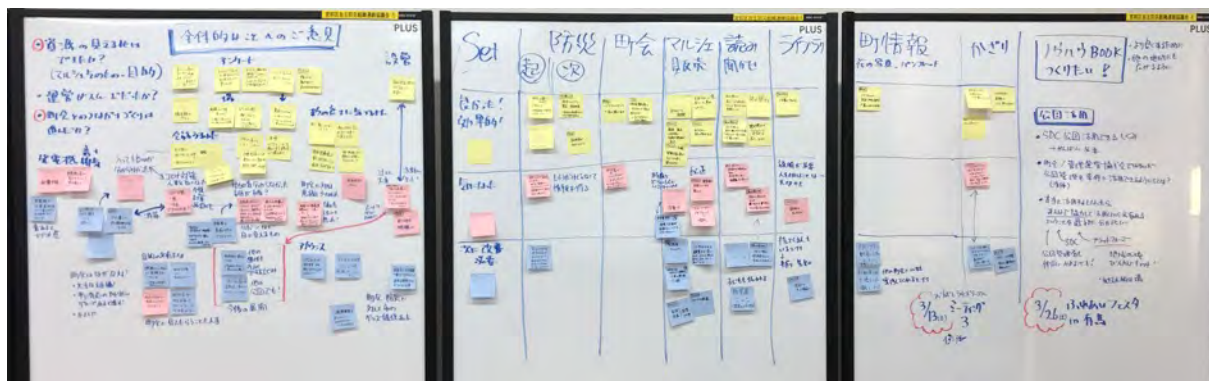
ミーティング2-2

日 時：令和3年12月22日（水）13:00～15:20

場 所：宮前区役所4階 第2会議室

ミーティングの目的

- ・ソーシャルデザインセンター構築に向けた検証の一環として、2021年12月5日の公園マルシェの振り返りを行う



- ▲2021年12月5日（日）開催の公園マルシェを振り返り、良かったことや改善できることなどを出し合いました

(1) 12月5日 公園マルシェの振り返り

振り返り | まとめ

エリア	良かったこと	気になったこと	次回改善できること
全体： マルシェの 効果	● 立ち話など知らない人との会話や交流が生まれた ● アンケートが交流のきっかけになって楽しかった ● アンケートに参加してもらうためには温かい飲み物が効果的だった ● まちの良さに気づけた ● 様々な世代や人が参加でき、楽しめていた	■ 飲食関係が景品以外はなかったこと	—
全体： 町内会と つながる・ 町内会を 知る	● 他の町内会にもこの取組の様子をみてもらうことができた	■ 町会との関わり方やイベントの目的が参加者に伝わったかが気になる ■ 参加者の町会に対する意識が少ないことが分かった	▶ 目的の共有が大切 ▶ 町内会が区民の活動をサポートできると良い ▶ 別町会との交流コーナー（情報コーナー）があると良い
全体： 参加者への 案内や 事前周知	—	■ 公園の中に入って良いのがわからなかった ■ イベントについて知らなかった [出店者]	▶ のぼり旗のような目印を設置する ▶ 入り口で声かけする人を配置する ▶ 会場内でアナウンスがあると良い ▶ チラシをまちなかでもっと目にする機会があると参加者も増えて良い [出店者]
全体： 運営体制・ 運営側の つながり	● 運営側として企画に関わると良いと思った人が多い印象を受けた	■ 関わっていた人の所属などが分からず、横の交流ができなくてもったいなかった ■ 運営を統括していた辻さん・浅野さんが大変そうだった ■ 終了時間が明確ではなかった	▶ 関係者同士の横のつながりを促すため、事前顔合わせや見える化できると良い ▶ 関係者間で運営作業を共有して、運営の負担を分散できると良い ▶ 公園管理者も事前ミーティングに関われると良い ▶ 今後の展開：他の公園でも展開し他団体も参加できる仕組みがあると良い
全体： 規模	● 公園の規模がちょうどよく、場所も駅に近くて参加しやすかった ● 開催時間を通じて、参加者数が平均化していたよかった	■ コロナ対策の人数が気になった	▶ 参加者がさらに多い場合はコロナ対策の検討も必要
全体： 設営・ 資機材	● 当日の設営や飾り付け作業がスムーズだった ● 発電機の音でイベントを	■ 発電機の音や排気が気になった	▶ 発電機の利用は最低限にできると良い ▶ 区役所が関わっていない場合、代わりの人員などが

エリア	良かったこと	気になったこと	次回改善できること
	やっている雰囲気が出た		必要 ▶避難場所など、緊急時などを想定しておくことも大事
防災コーナー	●防災は参加者の関心が高かったテーマだった ●説明を通じて関心が高まり、他地域についても知ることができた ●区役所による防災グッズの配布で、人を呼び込みやすかった	■配布グッズが余ってしまった ■混雑していたときは説明・情報を受けることができなかったのがもったいなかった	▶コーナーで配布していることについて、開催中に周知できると良い
町内会コーナー	●町内会の方々のビブス着用がわかりやすく、安心感につながった ●大人向けの町内会・自治会の情報（ポスター）と子ども向けのマスコットや飾りが交互に飾られていることが効果的だった ●町内会の紹介資料があったことがよかった	■町会長ともっと交流できると良かった	—
マルシェ・販売	●お店番の体験が初めてできた ●出店物の情報も展示されていて、関心をかめることができた ●出店までの流れがスムーズだった [出店者より]	■お店番の間、代わりに説明するのが難しかった ■販売エリアが寒かった ■時間が短く感じた [出店者より]	▶出店者同士がそれぞれのお店について情報を共有し、お店番の連携ができると良い ▶寒さ対策を検討する ▶その地域の参加者層に合わせて出店物を考えられると良い ▶チラシの写真を出店者にも共有し、周知を協力してもらおう [出店者より]
読み聞かせ	●読み聞かせは子どもも大人も喜んでた ●始める前に注目を集める行動が良かった ●クッションシートや広さが良かった	■発電機の音で声が聞こえづらかった ■全体アナウンスは届いていなかった	▶読み聞かせや開始時のアナウンスが聞こえるようにマイクや拡声機を使う ▶読み聞かせ以外の時間に子どもが関われるアクティビティができると良い
まちかどライブラリー	●会場でのライブラリーの位置がよかった	■ライブラリーの使い方が説明なしではわかりづらかった	▶本の循環を生むために、事前に周知して本の持参を呼び掛けられると良い
まちの情報	—	—	▶掲載できる情報の幅が広がると良い ▶別町会との交流コーナー（情報コーナー）があると良い [再掲]
装飾	●ツリーや会場全体の飾り付に子どもが喜んでた	■ツリーが目立たない場所に置いてあり残念だった	▶ツリーの位置をもっと目立たせる ▶飾りを最後まで子どもと一緒にする

振り返り | 詳細

全体に関すること		
マルシェの 効果	良かったこと	
	●立ち話など知らない人との会話や交流が生まれた ・立ち話で知り合いができた（読み聞かせの時） ・知らない人との会話が生まれた。知り合いになった ・コミュニティ、馴染みの人たちの触れ合いが ●アンケートが交流のきっかけになって楽しかった ・アンケートをとることで話をしたりして交流することが楽しかった ・アンケートフォームが使えて良かったです ・係の人が動き回って声かけするのが良かった ●アンケートに参加してもらうためには温かい飲み物が効果的だった ・アンケートに対して飲み物の配布は良かった。アンパンマンジュースが効果的だった ・景品（飲み物）があって良かった（ないとアンケートは集まらない） ・温かい飲み物があったこと ●まちの良さに気づけた ・まちに親しみが持てた ・まちに住む方々のマナーの良さに気づけた ●様々な世代や人が参加でき、楽しめていた ・子どもが喜んでくれて嬉しい ・世代、分野、地域など、多種多様な人が参加していてよかった ・シニアもいきいき参加する機会が得られた	
	気になったこと	次回改善できること
	■飲食関係が景品以外はなかったこと ・飲食関係がなかった	—
町内会と つながる・ 町内会を 知る	良かったこと	
	●他の町内会にもこの取組の様子をみてもらうことができた ・他の町会の方が熱心な関心を持たれていた ・町内会・自治会の方々にこのようなイベントや様子を見てもらえたことはよかった。見てもらうことが大切	
	気になったこと	次回改善できること
	■町会との関わり方やイベントの目的が参加者に伝わったかが気になる ・開催までの流れが把握できていなかった。町会との連携が目的なのか？ ・町会主催だと伝わったのか？ ・町会との関係はどうなりそうなのか？ ■参加者の町会に対する意識が少ないことが分かった ・町会への帰属意識の無さに気付いた。町会に入っているか否かはどうやってわかるのかが、わからない ・町会に協力したいと思った	▶目的の共有が大切 ▶町内会が区民の活動をサポートできると良い ・町内会は町民活動をサポートすることはできないか ▶別町会との交流コーナー（情報コーナー）があると良い ・イベントを主催している町会のエリア内に住んでいない場合、他の町会についても案内を受けられると良い（町会加入や繋がりに貢献）

参加者への案内や事前周知	良かったこと	
	—	
	気になったこと ■公園の中に入って良いのがわからなかった ・外から見ると何をしているかがわからない人がいた。「入っても大丈夫？」という疑問を持つ人が多かったような印象 ■イベントについて知らなかった[出店者] ・まちなかでチラシを目にする機会がなかった	次回改善できること ▶のぼり旗のような目印を設置する ・区公認ののぼり旗を作って飾ったらどうか ▶入り口で声かけする人を配置する ・人を置いて中を説明できる人をつくる ・小さい子ども連れの方は声をかけると割とスムーズに入っていた。それ以外の層は声をかけても歩き去って行ってしまった ▶会場内でアナウンスがあると良い ・「〇〇コーナーがあります」などといったアナウンスが時々あると良い ▶チラシをまちなかでもっと目にする機会があると参加者も増えて良い[出店者] ・スーパーなどにチラシを置いてもらえると良い ・小児科もお願いすると貼ってもらえることもある
運営体制・運営側のつながり	良かったこと	
	●運営側として企画に関われると良いと思った人が多い印象を受けた ・客として参加するより企画する方が良いと思われる人が多いようだ	
	気になったこと ■関わっていた人の所属などが分からず、横の交流ができなくてもったいなかった ・出店者同士のつながりが事前の打合せや振り返り会などであればよかった。横の交流を深めたい ・各人の所属がもう少しわかるとよかった（区役所の人など）町会長はしっかりと分かった ■運営を統括していた辻さん・浅野さんが大変そうだった ■終了時間が明確ではなかった	次回改善できること ▶関係者同士の横のつながりを促すため、事前顔合わせや見える化できると良い ・それぞれの役割が明確にわかるような横のつながり ・関係者の事前ミーティングができると良い ・腕章やリボンなどで関係者かどうかを見える化できると良い ▶関係者間で運営作業を共有して、運営の負担を分散できると良い ・他の団体も参加できるようにするには準備から当日に向けて、行動計画書のようなものがあると良いのではないかと ▶公園管理者も事前ミーティングに関われると良い ・公園管理者をまちづくりラウンドテーブルに入ってもらう ▶今後の展開：他の公園でも展開し他団体も参加できる仕組みがあると良い ・各団体が集まる仕組み（今回は既に集まっていた感じ） ・第一公園でも運動会、盆踊りをやるようにして

規模	良かったこと	
	●公園の規模がちょうどよく、場所も駅に近くて参加しやすかった ・規模がちょうど良かった ・公園で遊びたい人も遊ぶことができた ・おちば公園は駅に近くてよかった。ふらっと寄ってくれる人がいた ●開催時間を通じて、参加者数が平均化していてよかった ・時間来場者は割と平均化していて、混まず・空かず良かった	
	気になったこと	次回改善できること
	■コロナ対策の人数が気になった ・人が密 ・消毒できてなかったのでは	▶参加者がさらに多い場合はコロナ対策の検討も必要 ・入り口に人を設置した場合、そこで消毒もできると良い
設営・ 資機材	良かったこと	
	●当日の設営や飾り付け作業がスムーズだった ・当日の設営・飾り付けなどがスムーズにできた ●発電機の音でイベントをやっている雰囲気が出た ・発電機の音がイベント感を盛り上げた（何かをやっていることはわかりやすかった）	
	気になったこと	次回改善できること
	■発電機の音や排気が気になった ・発電機の排気が辛かった ・発電機の音が気になったという声を聞いた	▶発電機の利用は最低限にできると良い ・発電機の利用は必要最低限にして、音を抑えられると良い ▶区役所が関わっていない場合、代わりの人員などが必要 ・設営等で行政職員の動きで助かったが、通常は期待できないので代わりの人が必要 ▶避難場所など、緊急時などを想定しておくことも大事 ・こども文化会館がいざという時の避難場所にしてください
防災コーナー		
	良かったこと	
	●防災は参加者の関心が高かったテーマだった ・地震が多発して関心が高かったので、多くの方が立ち寄ってくれた ●説明を通じて関心が高まり、他地域についても知ることができた ・防災に対する関心が高まった ・会場入り口：防災マップと景品、説明者がいたこと。自分の地域だけではなく、他も知ることができた ・説明者が素晴らしかった ●区役所による防災グッズの配布で、人を呼び込みやすかった ・防災用品の配布がよかった ・配布する土産があったので、呼び込みしやすかった ・区が関わることで、町会・防災に対して市のグッズの提供があった	

	気になったこと	次回改善できること
	■配布グッズが余ってしまった ・宣伝が足りなかったのか、防災用品がもらえる宣伝が足りず、配布するものが余っていたのがもったいなかった（関係者に配布することに） ■混雑していたときは説明・情報を受けることができなかったのがもったいなかった ・自宅にシールを貼るということがだったが、防災情報も伝えることもしては。避難場所や給水所の場所など ・人が多くて忙しい時はグッズをもらうだけになってしまったので、情報も得られると良い	▶コーナーで配布していることについて、開催中に周知できると良い

町内会コーナー

	良かったこと	
	●町内会の方々のビブス着用がわかりやすく、安心感につながった ・町会のビブスを着ている人がいることで安心感につながった ●大人向けの町内会・自治会の情報（ポスター）と子ども向けのマスコットや飾りが交互に飾られていることが効果的だった ・入り口で町会の案内板とマスコットが交互に並んでいること。子どもが止まって、大人が読むという良い循環 ●町内会の紹介資料があったことがよかった ・パンフレット、絵本（町会案内）が置いてあったのが良かった	
	気になったこと	次回改善できること
	■町会長もっと交流できると良かった ・町内会長がいらしたのがよかったが、もっと交流があればよかった	

マルシェ・販売

	良かったこと	
	●お店番の体験が初めてできた ・初めての経験ができた（店番や販売） ●出店物の情報も展示されていて、関心を高めることができた ・出店物への関心を高められた ・販売・展示と同時に名刺や詳細があったこと ●出店までの流れがスムーズだった〔出店者より〕 ・準備も全てやっていただいて、すんなりお店を開けたのがありがたかった	

	気になったこと	次回改善できること
	■お店番の間、代わりに説明するのが難しかった ・店主がいない店で店番をしている時に、商品やお店の説明は難しかった ■販売エリアが寒かった ・運営側が日陰にいと寒かった ・ストーブのタイミングと場所 ■時間が短く感じた [出店者より] ・普段は 10 時～15 時くらいで販売 ・意外とあっという間に終わってしまった	▶出店者同士がそれぞれのお店について情報を共有し、お店番の連携ができると良い ・出店・店番の連携が必要 ・出店者同士の連携（休憩時のにお店番）できるようにになると良い ・出店者マニュアル ・出店する人はストアカード（連絡先）、小袋の準備、釣り銭 ▶寒さ対策を検討する ・ストーブの配置 ▶その地域の参加者層に合わせて出店物を考えられると良い ・小学生女子の購買力が高く、もっと選んで帰るものをたくさん出してあげられると良い ▶チラシの写真を出店者にも共有し、周知を協力してもらう [出店者より] ・出店者のつながり（ママ友ネットワークなど）を通じて、イベントを紹介できる ・チラシのデータじゃなくても、写した写真で全然 OK ・地元の酒屋さんや個店などに協力してもらえそう（宮崎台駅近くの）
読み聞かせ		
	良かったこと ●読み聞かせは子どもも大人も喜んでいた ・読み聞かせがよかった ・喜んでいて子どもをみて大人が幸せそうなのが新鮮だった ●始める前に注目を集める行動が良かった ・スタート時に砂を払う行為をすることでみんなが注目して寄ってきた ●クッションシートや広さが良かった ・読み聞かせのクッションシートがよかった。広さ・まとまり	
	気になったこと ■発電機の音で声が聞こえづらかった ・発電機の音が気の毒だった ■全体アナウンスは届いていたなかった ・個々に声かけするのは良いが、叫んで呼ぶのは聞こえていなかった	▶読み聞かせや開始時のアナウンスが聞こえるようにマイクや拡声機を使う ・マイクのようなものの準備が必要だった。聞こえない子もいたと思う ・スタート時は拡声機などで告知した方がよい ▶読み聞かせ以外の時間に子どもが関われるアクティビティができると良い ・子どもも関われる紙芝居ごっこができると良い

ライブラリー		
	良かったこと	
	●会場でのライブラリーの位置がよかった ・位置が良かった	
	気になったこと	次回改善できること
	■ライブラリーの使い方が説明なしではわかりづかった ・説明がないとわからない人もいたので、説明があった方がよい	▶本の循環を生むために、事前に周知して本の持参を呼び掛けられるとよい ・本を持ってくる人もいるとよいので、告知を事前にできるとよい
まちの情報（花の写真やパンフレット）		
	良かったこと	
	—	
	気になったこと	次回改善できること
	—	▶掲載できる情報の幅が広がるとよい ・PR・チラシ・動画・パネルコーナー ▶別町会との交流コーナー（情報コーナー）があるとよい〔再掲〕 ・イベントを主催している町会のエリア内に住んでいない場合、他の町会についても案内を受けられるとよい（町会加入や繋がりづくりに貢献）
装飾		
	良かったこと	
	●ツリーや会場全体の飾り付に子どもが喜んでた ・飾り付けがとても良かった ・入り口付近の装飾が人を呼び込めた ・みんなのツリー：子どもたちがとても喜んでた	
	気になったこと	次回改善できること
	■ツリーが目立たない場所に置いてあり残念だった ・みんなのクリスマスツリーは子ども達がとても喜んでいて良かったが、あまり目立つ場所になくて残念だった	▶ツリーの位置をもっと目立たせる ▶飾りを最後まで子どもと一緒にする ・一人につき飾り一つか二つにするなどして、最後まで子どもが飾りをつけられたら良いかも？

(2) 公園活用に関するご意見

●現状の公園活用の申請プロセスは複雑なため、活用しやすくするための仕組みが必要。

宮前区ソーシャルデザインセンターのお墨付きがついた活動は使いやすくなると良い

- ・ソーシャルデザインセンターを通じて、公園を活用できるしくみがあると良い。例えば、ソーシャルデザインセンターのお墨付きがついた取組やプロジェクト（「宮前区まちのひろば参加団体」など）であれば公園が活用できるなどの仕組みをつくる必要がある。現状の手続きはとても大変なプロセスなので、活用が進まない。
- ・冒険遊び場は区の事業として実施しているので、申請すれば道具の貸し出しや火の利用が可能になるなどができる。
- ・飲食の取扱時は保健所への登録など、最低限の条件や手続きのクリアをした上で、お墨付きがあると良い。

●担い手不足の解消のために、公園活用時に管理も条件にすると良いのではないか

- ・町内会・自治会や公園管理運営協議会以外の組織が活用したい場合、清掃などの公園管理作業の実施を条件に活用できるようにしてはどうか。
- ・ただ活用して利用者／消費者になるだけではなく、管理／運営にも関わってもらえると、管理しながら活用も進むのではないか。

●公園を活用するには様々な主体と連携して巻き込んでいく必要がある。ノウハウや人材をつなぎ、活用を後押しすることが、宮前区ソーシャルデザインセンターの役割なのではないか

- ・今回の公園マルシェに関わって感じたことは、実際に公園を活用するとなったら、地域の様々な個人や主体と協力・連携して活用していく必要があるということ。辻さんのように、公園の活用に向けて様々な人や主体と連携して巻き込んで活路を見出していったその行動自体が、地域を豊かにしてつながりづくりにもなったのではないかと感じた。
- ・活用を推進するための仕組みをつくることも大事だが、作り込むことが目的ではない。
- ・活用するにあたって、様々な人を巻き込んでいく必要性やそのためのノウハウなどが事前にわかると良いのではないか。
- ・公共空間の活用に向けてどのように活路を見出すかを話し合う場を設けることなども、ソーシャルデザインセンターが果たせる役割なのではないか。ノウハウや人をつないで、活用を手助けする。

●公園活用においては、公園管理者も宮前区ソーシャルデザインセンターやラウンドテーブルの場に参加していると良い

- ・公園の活用を推進するために、公園管理者もソーシャルデザインセンターやラウンドテーブルの仲間に入れてはどうか。

(3) しきみづくりについて（辻さんより）

- ・様々な人が出会える地域づくりをするために、常に変化に対応できるように、地域のことを敏感に捉えるプラットフォーマーが地域には必要。そのための場と人が必要。継続的な場が大切。
- ・プラットフォーマーの担い手として、地域を知ろうという思い、先進事例にアンテナを張っていること、地域の人のお話をしっかりと聞くことなどの姿勢が大事

宮崎台・おちば公園のミニマルシェ (2021.12.5)

コロナで始まりコロナで終わる 2021 年。12月5日は宮崎台のおちば公園で様々なアイデアを持ち寄る「公園ミニマルシェ (まちかどシェア@公園)」が行われました。

この日曜日は今年最後の公園清掃日、落ち葉の掃き清められた公園で、子供・大人・シニアの三世代の人達が大勢集まり様々なアイデアのイベントを楽しんでいました。



公園の入り口では、風船人形と町内会の歓迎ボードが人々を迎えます。



狭い公園は、やがて人々でいっぱい。笑顔と子供達の笑い声が溢れます。



活躍した「宮崎台花レンズ」、この日のために沢山の花の写真を撮って地域内の花地図を作り、「花作り」への関心を高めました。



来年は多くの花好きの人達が増え、さらに豊かな花々が町内を彩ることでしょう。まさに「花の台」ですね。

宮崎台・おちば公園のミニマルシェ（2021.12.5）

宮前区・花の台地区は、町と田園が混り合い、子供・大人・シニアが一緒に楽しめる花の町です。今日は町内会長も父子で参加して賑やかな交流の場となりました。



仲良しの参加グループもあちこちに集まり、お手伝いや笑顔でイベントを盛り上げてくれました。この子供達にとってはやがて「わがふるさと」になる町です。



注目を集めたのは、子供達への絵本の読み聞かせ。展開するお話に子供達の目が輝いていました。ボランティアの皆さんに感謝です。



来るべき新年には、コロナも収まり、さらに多くの皆さんの交流ができることを祈っています。皆様と共に育ててゆく「わがふるさと・花の台」、皆様が揃って健康で幸せな新年を迎えられることをお祈り申し上げます。

（2021年12月5日、おちば公園の「公園ミニマルシェ」）

2021 | 208 集計

おちば公園（宮崎台）ミニマルシェ
 主催：花の台町内会、宮前まち倶楽部
 2021 年 12 月 5 日 11:00-14:00 実施

アンケート回答者数：101 名

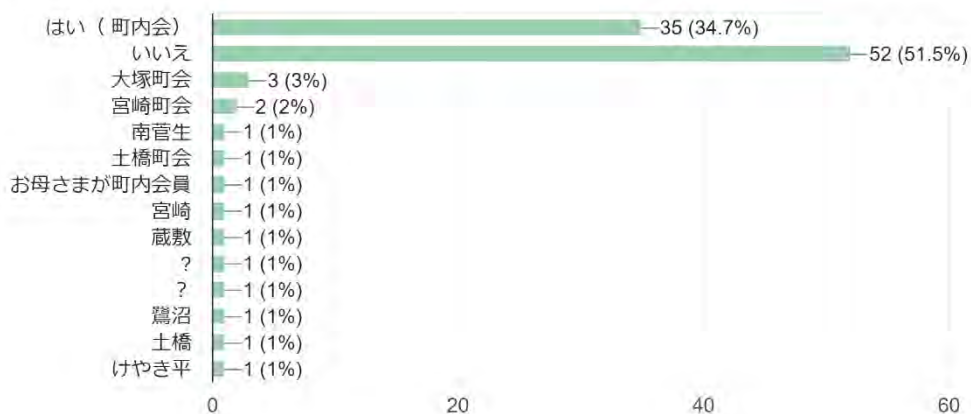
①年代を教えてください

101 件の回答



②町内会の会員ですか？

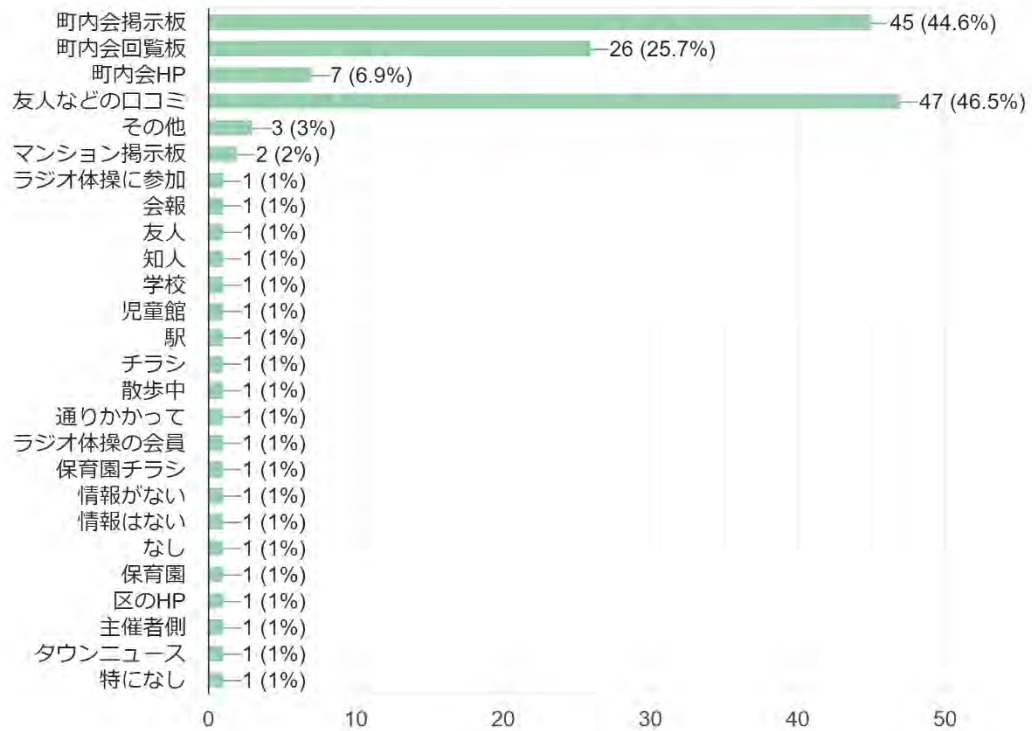
101 件の回答



※「はい」は花の台町内会会員を指す。

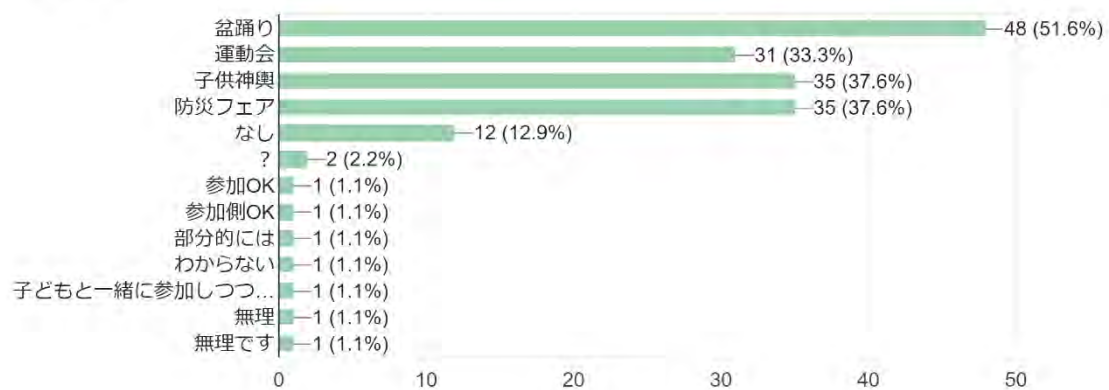
③日頃、近所の情報をどのように入手していますか？

101 件の回答



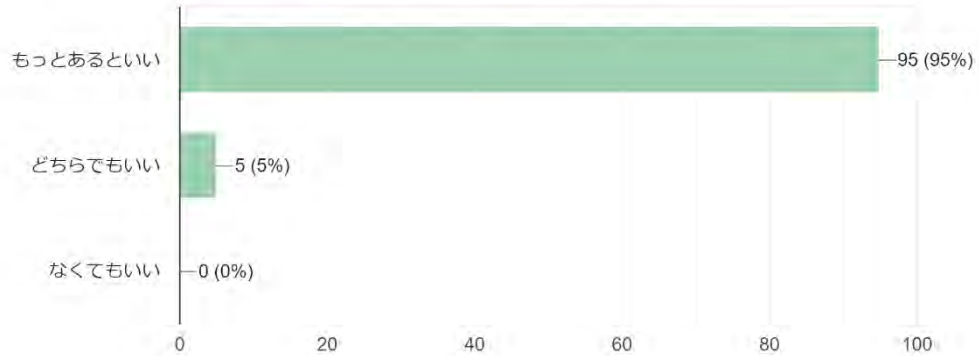
④以下の町内会イベントで運営側に参加してみてもいいものはありますか？

93 件の回答



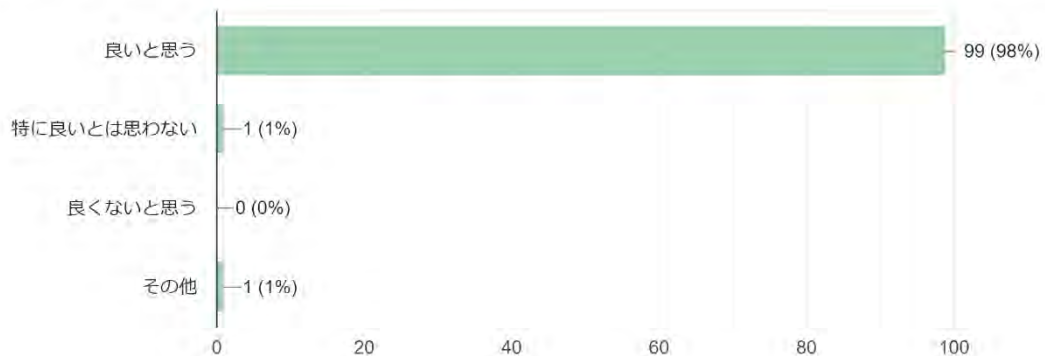
⑤近所で今日のようなイベントがあればいいと思いますか？

100 件の回答



⑥公園のこのような活用方法はどう思いますか？

101 件の回答



⑦地域にあるといいなと思うイベントはありますか？

76 件の回答

バザー

ハロウィン

盆踊り

キャンプ、つなひき

子どもたちが参加しやすいイベントを期待しています

文化祭、子供と大人が集うイベント(盆踊り以外で)

子ども用イベント

子供達でふれ合えるイベント、今日のように♡

交流の場を設けて

こんしん会

つなひきキャンプ

お正月イベント

子ども達にポン菓子作りを見せたい、井戸の水は温かいという経験をさせたい、古い井戸にポンプをつけることで地域にシェアする

交流会等

日本の文化の遊び

みんなでごはんを食べる！

子どもの交流

充分ある

公園マルシェ

ファーマーズマーケット

餅つき

音楽イベント、子育てイベント

宮崎台のまちコン企画

ハロウィン、夏祭り、餅つき

公園の掃除

マイクラフト

体験型イベント

子ども関係、かるた大会、祭りに向けての練習、科学館博物館に出かける

さくら祭のようなもの

映画

夏祭り、餅つき大会

世代別のイベント

ウォーキングで町内地域散歩

移動図書館

盆踊りと出店

金魚すくい

夏祭り

マルシェ

各種勉強会の場

各公園清掃にあわせたイベント

マルシェ、バザー

祭

マルシェ、回数多く

このような機会をありがとうございます

子供祭のようなイベント

子供向け体験イベント

火祭り

子どものためのイベント

バザー、交流会

大きなものが回数あるといい

ウオークラリー

お祭り

フリマ

手作りイベント

クリスマス大会

さくら祭の復活、子供神輿がこの辺にもきてほしい

バザー、こども向けのイベント

フリーマーケット

クリスマス会

カフェ、座れる場があるといい、子供関連のイベント

回数ではなく開催場所をふやしてほしい

ファーマーズ、野菜食べ物

夏祭り、祭り、みんなが集まれるような

お祭り、出店がでるような

音楽子供参加、ファーマーズマーケット、ダンスなど発表できる機会

公園マルシェ、公園バーベキュー

サンマ祭り

子供の遊べるところ、いろんな年代が集まれるもの、子供会に参加できないものが多い

鍋を囲んで食べる

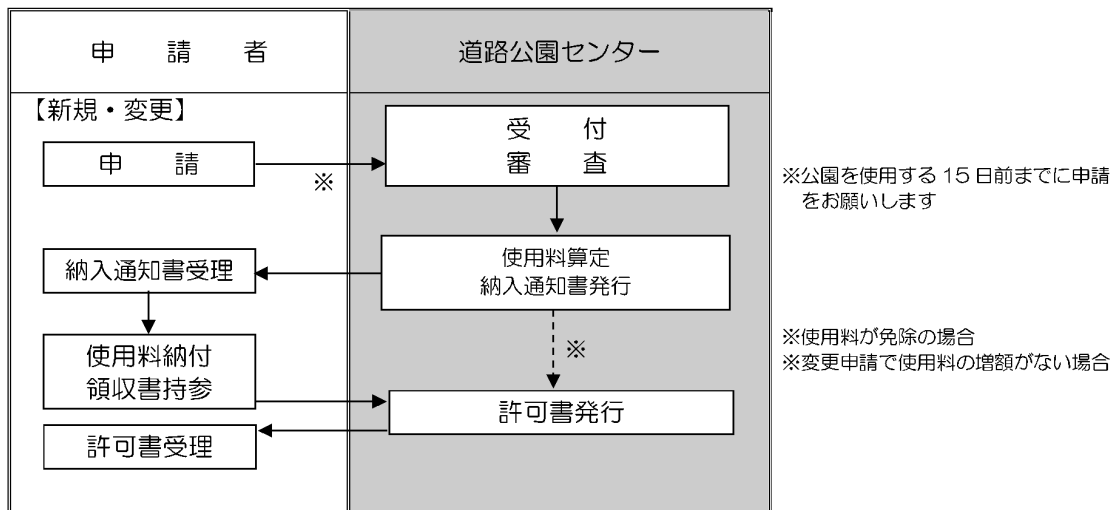
餅つき大会

テーブル1 プロジェクトを踏まえた公園の活用について

1 公園の使用について

- おちば公園でのマルシェ（物販を伴うイベント）については、許可が必要な行為（都市公園条例第3条）

公園内行為許可申請手続きの流れ



- 盆踊りなど一部のイベント等を除いて、身近な公園においては物販を伴う場合、市（区）主催のイベントもしくは「市（区）が共催・後援しているイベント」でないと許可できないという運用

2 今回のプロジェクトを通じて見えたこと

- 公園を管理している公園管理運営協議会が関わる物販を伴うイベント等についても、公園の使用許可を得るためには、毎回、市の共催・後援の申請が必要
- 共催・後援の申請についても、すべてのイベント等を承諾できるわけではない。
- 身近な公園でのマルシェ等については、地域でのつながりづくり、活動の見える化に非常に有効

⇒今回のマルシェのような取組を促進していくためにも、公園を柔軟に利活用できるようなルールづくりが求められる。

3 ルール作りのポイント

- マルシェ等をきっかけに公園の管理等に興味を持ってもらうこと（町内会自治会や公園管理運営協議会の担い手不足解消等）が重要
- 自立した地域の団体が、公園の利活用から管理まで主体的に取り組めるようにできるような形が理想
- 公園の自由利用の原則を阻害しすぎないこと（どの程度なら OK か？）
- 公平性の問題
- 安全性の担保の問題



宮前区の

公園がより活用

しやすくなります！

日頃から、公園の管理運営に御協力いただき、誠にありがとうございます。

川崎市では、「**これからのコミュニティ施策の基本的考え方**」に基づき、**地域の居場所**としての「**まちのひろば**」の創出や新たなつながりづくりに向けて、身近な公共施設について、**より自由度の高い活用**に向けた、地域での利用ルール決定や、その管理・運用への参加を促進するなどの取組を進めています。

宮前区の公園につきましても、柔軟かつ多様に利活用していただく中で、「**公園の適正な利用や、維持管理に関心を持っていただくこと**」を目的に、**公園の利活用に関するガイドライン**を定めました。

地域の皆様と力を合わせて、さらに公園を楽しく、魅力的で、愛される場所にできるよう、宮前区役所として取組を進めていきますので、御理解の程よろしくお願いいたします。

こんな公園を目指して公園の利活用に関するガイドラインを定めました！

※ 公園の利活用については一定の制限があります。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮をお願いいたします。



管理の行き届いた
居心地のいい空間に！

楽しい公園に！



地域の人が集う
マルシェができる

みんなの居場所に！



コミュニティカフェができる

詳しくはこちらまで
お問合せください！

ガイドラインに関すること

宮前区役所まちづくり推進部企画課

電話：044-856-3133

Mail：69kikaku@city.kawasaki.jp

公園の維持管理等に関すること

宮前区役所道路公園センター管理課

電話：044-877-1661

Mail：69doukan@city.kawasaki.jp

宮前区における物販を伴うイベント等に関する公園利用ガイドライン

1 目的

宮前区における物販を伴うイベント等に関する公園利用のガイドラインを定めることにより、公園緑地の柔軟かつ多様な利活用を推進するとともに、持続可能な管理運営の仕組みの構築につなげていくことを目的とする。

2 運用基準

宮前区内の公園における物販を伴うイベント等については、次の（１）（２）に則り、道路公園センターへ公園内行為許可申請を行い、許可を受けることで実施できるものとする。

（１）実施主体が公益的団体又は公園管理運営協議会であり、次のア～クの要件を全て満たす場合。

ア 公園管理運営協議会が設置されている公園の場合、協議会が自由利用の原則を大きく阻害しないと認め、利用調整を行ったものであること。

イ 公園管理運営協議会が設置されていない公園の場合、その公園について物販を伴うイベント等を許可する合計の日数が平日は１か月につき４日、休日は１か月につき２日を超えていないこと。ただし、納涼会、運動会、盆踊り、すいか割り大会、遠足、フリーマーケット、バザー、ゲートボール、グランドゴルフ、少年サッカー、レクリエーション大会、ラジオ体操、花見、親子のつどい、餅つき、地域交流会、演芸会、秋祭り等はこの日数に含めないものとする。

ウ 公園の適正利用や、公園管理運営協議会に関する認知や取組の理解促進、担い手不足の解消等につながるものであること。

エ 歩行者等の自由な通行ができるよう、必要な通路を確保するものであること。

オ テント等を設置する場合には、安全面に十分に配慮した配置とするものであること。

カ 施設を破損させた場合の復旧や使用後の清掃等を実施するものであること。

キ 周辺住民への周知を実施するものであること。

ク 500㎡以上の公園であること。ただし、道路公園センターと協議の上、安全面に十分配慮して実施することが確認できたイベント等についてはこの限りではない。

（２）市（区）の主催・共催・後援事業等であり、次のア～オの要件を全て満たす場合。

ア 歩行者等の自由な通行ができるよう、必要な通路を確保するものであること。

イ テント等を設置する場合には、安全面に十分に配慮した配置とするものであること。

ウ 施設を破損させた場合の復旧や使用後の清掃等を実施するものであること。

エ 周辺住民への周知を実施するものであること。

オ 500㎡以上の公園であること。ただし、道路公園センターと協議の上、安全面に十分配慮して実施することが確認できたイベント等についてはこの限りではない。

（附 則）

本ガイドラインの施行は、令和４年２月２２日とする。

シニアが気軽に立ち寄れる場 (宮前区版道の駅?) をつくってみよう!

② 解決したい課題や実現したいことを知ろう!

エンジョイシニア文化祭開催の経緯

宮前区が30年、40年後
どんなまちであって欲しいか?

シニア向けの取組が必要と考え、
2年前に「エンジョイシニアの
大文化祭」というイベントを企画

【出展者の募集方法】

- ・ Facebookの掲示板で声掛けし、メッセージでやり取りした
- ・ 40代くらいの方が集まった
- ・ 布小物、和菓子・お茶、指ヨガ、耳ツボピアス、フラワー・お花のアレンジ、漢方、うなぎ
- ・ ステージとして、ミュージックケア、笑いヨガ等

【場所】

- ・ 特別養護老人ホーム（フレンド神木）の地域交流スペース
- ・ フレンド神木は駅から離れているが、駅前は、すでにたくさんのイベント等がある。駅前までいなくても自分の家の近くで何かイベント等があるといいなと思った

【お客さんの層】

- ・ 近所に住んでいる方や、フレンド神木の利用者の方等

【広報】

- ・ チラシを1000枚以上根性で！ポスティング
- ・ 山坂が多かった・・・
- ・ チラシをもってきてくれた人がいて嬉しかった

【その後の展開】

- ・ この取組が実績となって、他の包括でも敷居が下がって、地域交流スペースの活用の事例になって広まってほしいという話を当時していた
- ・ 麻生区で同様の取組をやろうとしていたがコロナで中止になってしまった

Q：準備とか後片付けとか期間はどれくらいかかる？

A：今回は会場の都合で2ヶ月後にやると決めてスタートした。終わった後は報告書を書くぐらいで、それほど負担はない。イベントの規模によっては半年～1年前から準備がかかるものもある

Q：出店者はどんな話があった？

A：子ども向けのイベントはよく出ている方で、シニアのイベントに出店したのは初めてという方が多く、事前に相談や質問もあったが、実際やってみたら、子ども向けイベントもシニア向けでもそんなに変わらずに楽しく参加できたという声が多かった！運営側としては、高齢者の方が転ばないかなどの懸念もあったが、出店者の方も一緒になって気遣ってくれて、大きな負担がかかったということもなかった

Q：参加者の声は？

A：ここに老人ホームがあることを知らなかったという声があった。存在をアピールしたい施設とのマッチングもありだと思った

Q：何かしたいと考えている40～50代と、シニアの楽しみを享受するためのマッチングは素敵で、納得いく人生、納得のできる人生というキーワードにとっても惹かれるが、一過性の楽しみを提供するってということと、納得できる人生を過ごすというところの両立に無理があるのかなと思うが。

A：自分の経験があるのがイベントだったので、イベントをやってみた。その日1日ということでやりやすさもあったが、一過性に終わってしまったのはもったいないと思っている

シニアが気軽に立ち寄れる場 (宮前区版道の駅?) をつくってみよう!

② 解決したい課題や実現したいことを知ろう!

エンジョイシニア開催を踏まえて
「宮前区版道の駅」を通じてやりたい・実現したいこと

【運営側のモチベーションを保ちたい】

- ・とても楽しかったが熱量を全部使いきってしまって、継続ができない
- ・仕事や子育て、介護の隙間時間で地域のことをやりたいと思っている人がいる
- ・負担が大きいと苦しくなりやりたくないとなってしまう
- ・どうしたら運営の負担が軽くなるか。
- ・人を増やせばいいのか、少ない人数で回せるものにするのか

【一過性のものでなく継続できるものにしていくためには?】

- ・ずっと続けていくというイメージの中で道の駅があった
- ・継続するには常設した箱が必要? それとも単発のイベントのまま、何か継続できる方法がある? 皆さんの意見を聞いて考えたい

【シニアの人たちに何を提供する?】

- ・健康な状態で長く暮らしていくにはコミュニケーションや、情報収集ができるということが大事だということがわかった。それが続けられる場を作りたいというのがスタート

③ 課題解決のアイデアを出し合おう

どんな人(シニア)が困っている?

- ・認知症だけど体は元気な方や、車いすで移動が難しい方など様々な方がいる。既存の介護保険のサービスで収まりきらない方を支えてもらえる仕組みがあるといい。移動図書館のように近くまで出向いてきてくれるとそこまではいけるかもしれない。
- ・市民館でのカフェや分館での傾聴ボランティアなどのサークルは、コロナで全部ストップになってしまった。シニアで、自分たちが老後に困らないよう、お弁当屋さん等をしてきたが、仲間たちの中には老人ホームに入って終の住処が宮前区でなくなった人が多い。終の住処を自分の家で過ごしたい。若い人とつながり、活動を続けていきたい。

どんな場があるとよい?

- ・販売だけでなく将棋や囲碁等ができる場も欲しい
- ・おしゃべりしてほっと、安心できる場
- ・よろず相談ができる場
- ・キッチンカーでベンチと机を出しお茶が飲める場
- ・老人ホームに入る手前の方にとって地域で介護予防につながる場
- ・同じ場所、同じ曜日・時間、同じ仲間が集う場所
- ・1か所だけに収まらず色んなところに出向く、移動図書館のような場がよいのでは

シニアが気軽に立ち寄れる場 (宮前区版道の駅?) をつくってみよう!

③ 課題解決のアイデアを出し合おう

ラウンドテーブルメンバーからのアドバイス

【つながれると良い地域の資源】

●人やスキル

- 宮前区の中にはハンドメイドをやっている、**自分の作品を発表するための場所を探している人**がいる。区内全域でそのようなことができるということを発信しては。

【地域で続けるためには場所・人・時間・スキルが流動的だと良い】

- 常設でやれて、きちんと収益も上がってというのは企業、プロの仕事。それを地域がやるのであれば、**実施する時間、人、能力が流動的**であって良いということなのでは? 様々な資源の情報があつた上でその時にどの資源を使うか決めるという形でやれるのが良いのでは。
- 1か所だけに収まらず様々な場所に出向いて**認知してもらい、その場その場で協力者を募っては。

【テーマについて】

- 「納得のいく人生」とは何か? をさらに深掘りしていけると良い

●場所や空間

- 地域包括支援センターとしては、何かをやろうとしたときに、自分たちで運営をやり、中身も自分たちが演者になってやるとなると大変。**場所を貸せば良いだけなのはありがたい**。この取組がきっかけで、フレンド神木では、今後の活用にも備えて地域交流スペースの利用基準をつくった
- 免許返納で空いた自宅の駐車場**でガレージセールをしては? 所有者としてもそこを活用して少しでもお金になったらいい。そういった場所があることは知っているけど、個人情報なので、つなぎ方が難しい。

【既存の取組や活動とコラボレーションできると良い】

- 営生分館の「分館祭り」**は、企画運営会が高齢化している。ぜひそこに入り込んでやってほしい
→通常は営生分館で物販などはできないが、既存のイベントと連携すればできることもある。営生分館の学習室や子どものスペースは比較的空いているので活用してはどうか。
- コミュニティカフェも公園体操も**宮前区には50ヶ所ぐらいあって、他の区より多い。コラボすれば、そのカフェや体操側にも新しいテーマが加わって活性化する。掛け合わせは、面白いかもしれない。公園は飲食ができないので、公園体操をやってから、違うコミュニティカフェのようなところに移動するなど。
- コンビニ程度の大きさで提供している**デイサービスの事業者**があり、週に1回のフィットネス等をやる人たちが集まっている。そこに outlet してみると新しいのでは? 実際にデイサービスで八百屋さんをやっている事例がある。

ミーティング1のまとめ

【地域の既存の取組と連携できると良い】

- 地域には色々な取組があるので、冠だけを決めて、**地域の団体と協力して実施**すれば、運営の負担は軽減されるかもしれない
- 1ヶ所から始めて**徐々に増やしていき**、その場で、参加していただける運営の方たちも一緒に集いながら、**細く長く続けられるもの**が宮前区の場になったらいいと思う

【大きなイベントではなく、小さくても継続できる取組が大切】

- 継続することが大切で**、大きなイベント、お祭りを継続するとなると大変なので、構えてしまったところがあった
- 小さくてもいいので**続けることが大事**

【身近な場所であることが大事】

- 高齢者が集まりやすいよう、それぞれにとって**身近な場所でやる**ことが大事
- 移動図書館をイメージしながら、様々なところを日にちを決めて回っていく。

【コミュニケーションを通じてシニアの悩みの解決につなげたい】

- そこに人が遊びに来ていただけると、**情報提供や情報収集**もできる。
- 生の声を聞ける**ことが一番重要で、課題や悩みがわかってくる。課題や悩みを道の駅で解決できれば良い。解決できなくても、他のところにつなぐようなことをしていきたい

(仮称) 宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト
宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

テーブル

2

シニアが気軽に立ち寄れる場（宮前区版道の駅?）をつくってみよう！

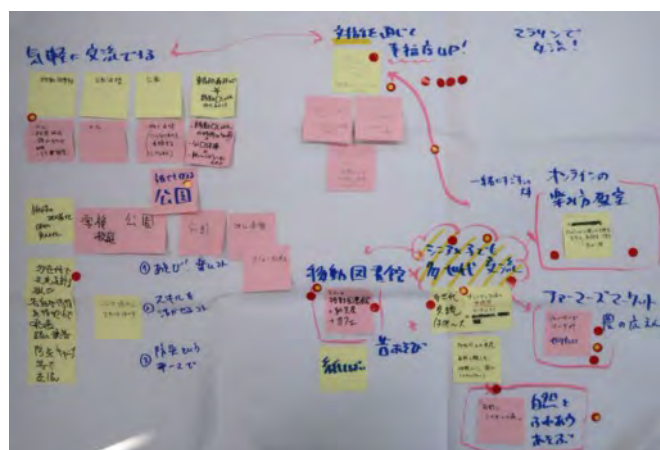
ミーティング2

日 時：令和3年12月18日（土）15：00～17：15

場 所：宮前区役所1階 健診ホール

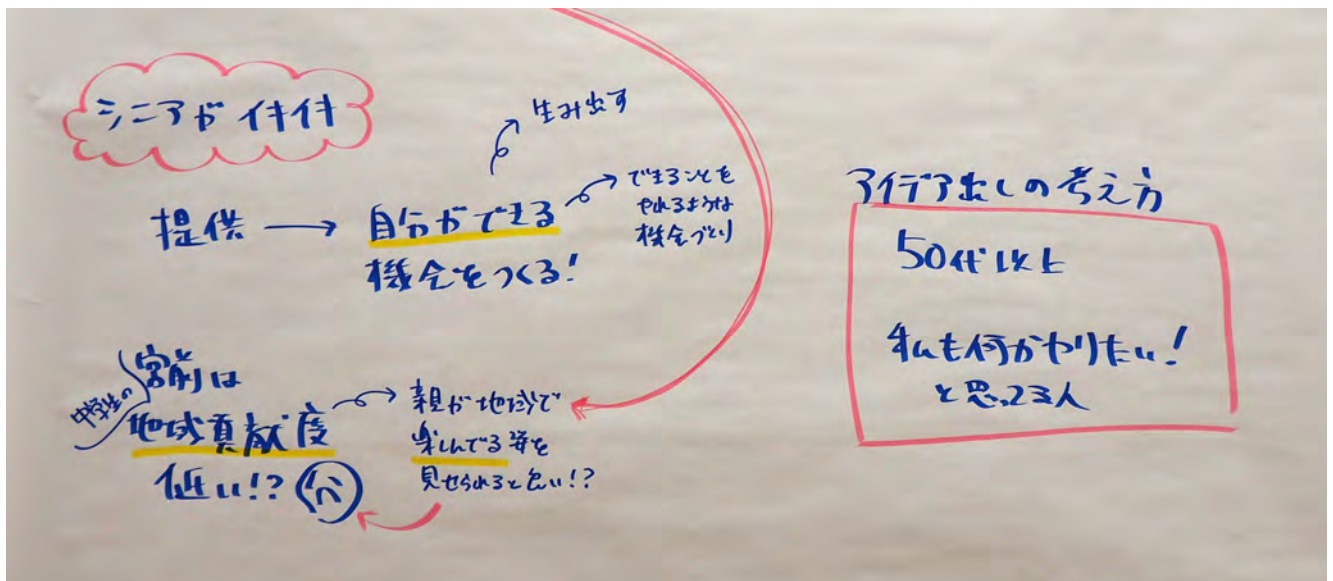
ミーティングの目的

- ・ ミーティング1（11月3日）の振り返り
- ・ シニアが地域でいきいきと楽しむ！を創るためのアイデア出し



(1) シニアが地域でいきいきと楽しむ！を創るためには？

シニアがより地域でいきいきと暮らせるために、地域の既存の資源を活用してどんなことができるか？のアイデアを参加者で出しました。



●アイデア出しの考え方（西村さんの思い）

- ・対象（シニア）の課題を解決するために何かを「提供する」のではなく、対象としたいシニアが自分でも何かができたり、生み出すことができる機会や環境を創出することがポイント
- ・宮前区の中学生の地域貢献度は他区と比べて低いというデータがあった。親が地域に関わっていて楽しんでいる姿を子どもに見せられると、子どもが地域との関わりを持つことにつながるのではないか。

●対象のイメージ：「シニア」ってどんな人？

- ・50代以上
- ・地域で何かをやりたい、地域に関わりたいと少しでも感じている人（実際に行動できていなくても良い。そういう思いが少しでもある人）

[アイデア出し]

- ・シニアの様々な悩みの解決やいきいきした暮らしを実現するために、使いたい地域の資源を掛け合わせて、やりたいことを出しました。
- ・アイデアに対して、「応援したい!」と思ったアイデアや資源にシール投票しました



アイデア集

凡例 | ● 実現するために関わりたい！ | ○ 応援したい！ ▼

テーマ（目的）	× 活用したい資源	▶ やりたいこと	シール （再掲）
シニアと子どもの交流を育む ＊テーマ全体への投票：●2、○3	×移動図書館（●1、○2） ・移動図書館＋紙芝居＋カフェ ・移動図書館×移動動物園	▶シニアと子どもの交流を育む ・多世代交流（子ども～大人） ・シニアと子どもの交流会、テーマは？	●1 ○2
	×ファーマーズマーケットで農の応援（●1、○2） ・ファーマーズマーケットやりたい		●1 ○2
	×地域の高校生や大学生 ・先生は高校生、大学生、高齢者	▶オンラインの楽しみ方教室（○2） ・オンラインの楽しみ方教室 ・シニアが若い人と一緒に過ごすことが大事	○2
	×公園 ・南野川ふれあいの森（○1）	▶「自然との触れ合い」「遊び」を通じた交流（●1） ・多世代との交流、自然を楽しむ、仲間作り、遊び（コミュニティ）	●1 ○1
	×昔遊び ・紙芝居	▶「遊び」を通じた交流 ・多世代で交流を図る遊び（○1）	○1
		▶「運動」を通じた交流 ・小学校の運動会で多世代リレー（100歳代～、90歳代～、80歳代～に早く車椅子を走らせる練習）	
健康促進、地域を知る、困りごとの共有	×川や公園 ・矢上川 ・平瀬川 ・公園など	▶健康マラソンで交流しながら地域を知り、困り事を吸い上げる（●1、○1） ・マラソン交流	●1 ○1
対話・語り合える場づくり	×カウンセリング等のスキル・人脈 ・“自分らしく生きるために”～家族間調整、後見等～ ・オープンダイアログ、対話の会主催、カウンセリング ・コ・リーガルとして法律家とともに相談、講演、カウンセリング	▶対話を通じて幸福度 UP（●2、○5） ・対話（ダイアログ）の会。幸福度の高いフィンランドの処方箋 ・多世代でも、シニア同士でも ・言葉を発することが大事 ・困ったときには相談できる	●2 ○5

テーマ（目的）	× 活用したい資源	▶ やりたいこと	シール （再掲）
身近なたまり場・ 居場所づくり	× 移動図書館・公園体操 ・ 移動図書館（◎1） ・ 公園体操	▶ 移動図書館を活用した身近な交 流の場をつくる ・ 移動図書館の時間の前に公園体操、 紙芝居等のイベント	◎1
	× 公園 ・ 公園 ・ 東高根森林公園等、移動図書館の来 るところ	▶ 気軽に交流できる場や機会をつ くる ・ カフェ、野菜販売、読み聞かせ、IT 教室 ・ カフェ ・ 物々交換（小さなもの）、いらない ものを支援する	
	× 自宅の空きスペース ・ 自宅の道路沿いの一部屋（6 帖のス ペース）、昭和の鉄道ギャラリー（写 真、模型）（○1）	▶ 地域のたまり場をつくる ・ 地域のたまり場。住まい、まちづく りの相談（よろず相談所）、コミュ ニティの場。ハンドメイドの販売等 も OK	○1
つながりづくり		▶ 防災をテーマに交流する ・ 防災キャンプ等で交流	
		▶ つくった物や作品を共有して、 つながりをつくる ・ 作品リレー：物物交換など、つくっ たものを共有することでつながり をつくる	
特技を活かせる 場	× シニアのスキル ・ シニアプロボノスキルを活かす	▶ スキルや得意なことを活かせる 場をつくる ・ 各自が特技を持ち込んで発表。踊 り、歌等	
地域の場の活用 地域に開いた場 づくり	× 空いている店舗、駐車場、空き家 など ・ 施設・店舗等の時間外の駐車場、外 からアクセスできる屋上 ・ 大型店の駐車場（休業日） ・ 空き家活用 or 住み開き ・ コミュニティカフェ	▶ 空いている場や時間を活用して、 地域に開けた場が増えるといい ・ 施設の地域化、オープン化・見える 化	
	× 公共施設 ・ 学校、校庭 ・ 地区会館		

テーマ（目的）	× 活用したい資源	▶ やりたいこと	シール （再掲）
地域の場の活用 地域に開いた場 づくり（続き）	× 誰でも使える公園（◎1） ・ 公園 ・ 公園		◎1
情報発信・ 地域を知る	× 地域活動 ・ 地域活動のいくつかを選ぶ	▶ まずは地域活動の情報を発信する ・ 活動内容目指していることを伝える ・ 区民は知らない、関心がない、知る手段がない	
	× スーパー（店舗） ・ スーパーのラックにチラシ × 地域の情報 ・ 情報発信、シニア向け、地域包括支援センターの情報など（買い物など身近な場所で）	▶ スーパーなど身近な場で地域の情報を発信 ・ スーパーのラックにチラシ、スーパーで相談	
	× ライティング・IT スキル ・ ライティング、IT スキル（○1）	▶ 地域の情報発信・オンライン講座 ・ いくつになっても何か生み出して提供できる場を作る（商売）	○1
	× 川 ・ 平瀬川	▶ 船からまちを知る、バリアフリーなイベント ・ 船からまちを見てみよう（バリアフリー）	
買い物・移動の 支援	・（支援の対象）受け取り：買い物に出かけるのが億劫な方（足腰が悪くて難しいなど） × 元気な人・支援したい人 ・ 提供者：自分の住まいの近くなついでに配達しても良い方（近くのエリアに限定する） × 地域の企業・商店街（スポンサー） ・ 支援者：企業、商店街（スポンサー） × IT・テクノロジー ・ 仕組み：スマホで受け手と提供側をリアルタイムにマッチング	▶ 買い物に出られなくて困っている人と、身近な人をつなげて、買い物支援や情報提供につながる仕組みをつくる ・ Uber 宮前（◎1、○3） 高齢者は山坂が多くて買い物に出かけられない。買い物に出られない人に商品を配達する仕組み。帰宅のついでに困っている人のために買い物できる人とマッチングする。ついでにチラシなどの情報提供もできると良い	◎1 ○3
	× 坂、川沿い、ちょっとした空間 ・ 川沿い、バス停、公園、通り沿いにもっとベンチを ・ みんなが持っている椅子を出す	▶ 坂の途中など街中にベンチなどを置いて、休憩しながらちょっとした交流ができる場をつくる ・ 坂の途中のたまり場	
その他	・ 区役所、市民館での IT 活用		

資源リスト（更新版）

分野	資源
人・スキル (ミーティング2で追加)	・ ハンドメイド作品を作っている作家さん
	・ 40代くらいの方の出店者：布小物、和菓子・お茶、指ヨガ、耳ツボピアス、フラワー・お花のアレンジ、漢方、うなぎ等
	・ 40代くらいの方によるステージ：ミュージックケア、笑いヨガ等
	・ 分館祭りの運営の経験
	・ 自分の住まいの近くならついでに配達しても良い方
	・ 企業、商店街
	・ スマホで受け手と提供側をリアルにマッチング (IT スキル)
場所・空間 (ミーティング2で追加)	・ ライティング、IT スキル
	・ コ・リーガルとして法律家とともに相談、講演、カウンセリング
	・ 福祉施設の地域交流スペース
	・ 免許返納であいた自宅の駐車場
	・ 営生分館
	・ 南野川ふれあいの森
	・ 矢上川
	・ 平瀬川
	・ 施設・店舗等の時間外の駐車場、外からアクセスできる屋上
	・ 大型店の駐車場（休業日）
	・ 空き家活用 or 住み開き
	・ 自宅の道路沿いの一部屋（6帖のスペース）
	・ 川沿い、バス停、公園、通り沿い
	・ 公園
	・ 学校、校庭
機会 (ミーティング2で追加)	・ 地区会館
	・ コミュニティカフェ
	・ 分館祭り
	・ コミュニティカフェ（区内に50カ所くらいあります！）
	・ 公園体操（区内50カ所くらいでやっています！）
	・ コンビニ程度の大きさと提供しているデイサービスの事業所（週に1回くらい人が集まってフィットネスやっています！）
	・ 移動図書館
	・ 移動図書館の来るところ（宮前美しの森公園、宮前休日急患診療所駐車場、有馬さくら公園、市立東高根森林公園）

分野	資源
コンテンツ (ミーティング2で追加)	・将棋・囲碁
	・おしゃべりしてほっと安心できる場
	・よろず相談ができる場
	・地域で介護予防につながる場
	・紙芝居
	・“自分らしく生きるために” ～家族間調整、後見等～
	・オープンダイアログ、対話の会主催、カウンセリング
	・昭和の鉄道ギャラリー（写真、模型）
	・移動動物園
モノ (ミーティング2で追加)	・キッチンカー
	・みんなが持っている椅子
情報	・情報発信、シニア向け、地域包括支援センターの情報など（買い物など身近な場所）

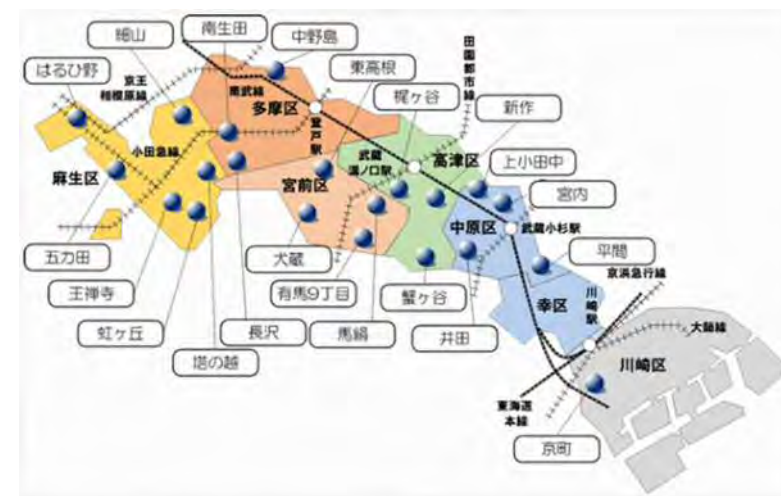
宮前図書館自動車文庫

たちばな号



<宮前区> 雨の日はお休みにします

ポイント名	曜日	時間
犬蔵 いぬくら 宮前美しの森公園内 まきのみ	第2木 第4木	午後 2:20～ 3:00
馬絹 うまきぬ 宮前休日急ぎ診療所駐車場 ありま きゆうちうようめ	第2木 第4木	午後 3:30～ 4:10
有馬9丁目 うまきくら公園内 むかしとかね	第1金 第3金	午後 3:20～ 4:00
東高根 市立東高根森林公園内	第1火 第3火	午後 3:10～ 3:50



車内の様子



下扉が机となり立ち読みしやすい

- 適切な蔵書量に「図書館より探しやすい」という声が多かった
- 定期的に本を入れ替えている
- もの珍しさで立ち寄り、図書館では借りられない本が借りられやすい
- 過去に市の事業に関連するチラシを配置した際はかなりなくなったとのこと
- 場所や時間帯によって、お越しになる方の年代や層に特徴が出そう
- 時間が短いからこそ、その時間に人が集まってくるというメリットも？！
- 全市を巡回するという特徴を活かせる？
- 図鑑等を用意しておいて、生物の卵やドングリなどの種類を一緒に調べることで子どもたちの学習のきっかけづくりをすることがある
(地域の自然活動(里山等)のボランティアと連携し、図書館の本をその場で使いながら学習するような機会を作ることができるかも？)



干支「寅」



新着図書



認知症の人にやさしい「小さな本棚」

出入口の扉にチラシを配架
(運行予定・新着図書案内等)

- 各種コーナーも充実
- 絵本や児童書が多い。紙芝居も。



犬蔵（宮前美しの森公園内） 午後2:20～3:00

大きなピオトープのある楽しい公園です！

音楽が聴こえたら
移動図書館がやってきた合図



移動図書館が
やってきた～！



小さい子ども連れが多い印象

- ・何組か公園内で待ち構えている。列もできている。
- ・周辺はマンションが多く、子育て世帯が多い印象。紙芝居を借りる親子も。
- ・小さい子ども連れの親が、保育園や幼稚園のお迎えの際に小学生との待ち合わせに活用することもある。
- ・幼稚園のお迎えの時間に当たること、子育て世帯が多いエリア、楽しい公園での実施がマッチして、多くの方がお越しになっている印象。
- ・お越しになっている方に利用状況などのお話を聞くこともできました。



子連れが多いポイントには
子ども用の椅子も出します

馬絹（宮前休日急患診療所駐車場） 午後3:30～4:10

親子連れの他、
近所に住む高齢者が立ち寄る姿も。



- ・ 駐車場内のため先に来て待つ人は少ない
- ・ 周辺は住宅街で一軒家が多い
- ・ 駐車場は広く、スペースには余裕がある。
- ・ 住宅街が近いので、静かに、落ち着いて過ごせる。
- ・ スーパーの「ライフ」が近いので、夕方に買い物をして帰る方をターゲットにした取組ができるかも。
- ・ 公園と違い、ふらっと立ち寄る方は少ないものの、バス通り沿いにあり、目立ちます。バス停が近くにあるため、バス待ちの方もターゲットに？



隣接する住宅が近いので
音楽を流すことはできません

民間が保有する地域の場合と 地域活動をマッチングしよう！

② 第1回コジマルシェを振り返ろう！ よかったことや困ったことを出し合おう

最初のきっかけ

- ・地域住民の方につないでもらうため、区役所の「地域」や「企画」とついている部署が窓口になってくれるのではと考え、地域振興課に声をかけた（アクロス）

	よかったこと	心がけていたこと	課題	今後の方針
提供側 (企業)	・ 口コミ等で人が人を呼び、店への集客に繋がった ・ 今後もエントランス広場を活用していきたい	・ 店と出店者が一緒にイベントをやるのが大事 ・ テント等の物品購入は元々予定していたもの。店員の声掛けも、イベントと一緒に盛り上げるため実施した →今後もテントはどんどん使っていってもらいたい	・ 出店者についての信頼の担保が必要（なので1回目は行政にマッチング依頼した） ・ 出店者が増えてきたときの調整。行政のワンクッションなく地域の方とやりとりすると選定の基準も求められてくる。企業側が選んでいるという印象になるとどうか	・ 飽きられないよう、今後も様々なイベントを実施していきたい ・ 場所を貸していると苦情は店側に来るので、出店者について一定の水準は保ちたい ・ 時期としては繁忙期は避けて実施したい
活用側 (出店者)	・ コロナで活動が途絶えていたクリエイターにとって、久々の活動の場となった ・ 人気店舗のいい場所を使えて、お客さんも多かったし、素晴らしい場だった ・ 急な雨にもテントの位置を変えるなど対応してくださった	・ 店頭での出店のため、店側の盛り上げも考えていた →レシートの特典を理由に、コジマに買い物に行ってくれた人がいた ・ 物品や場所の貸出までやって頂いて非常にありがたかった	・ ハンドメイドをやってる人は本気でバリバリやってる人もいれば、趣味の延長の人もある	・ コジマさんに負担をかけずに今後も長く続けていくため、出店者側でできることはやっていく
コーディネーター (行政)	・ たまたまアクロスさんから話が来て、つないで、イベントが実現し、すごくいい感じになった	・ 1回目からいきなり知らない人同士をつなげないので、準備は間に入って進め、イベント当日に顔合わせをした	・ 別の職員が電話を受けていたら全然違う結果になっていた ・ つながり仕事はオフィシャルに役所がやる仕事とは謳われていない ・ つながり上で、区役所として、公平性をどう考えるか ・ 紹介した結果、トラブルにつながったり、相性合わなかったりすると困るので、紹介の仕方が難しい ・ 出店者の選定をどうするか	・ 今回のことをモデルケースに、自分たちで走り出してほしい ・ 今後同じようなイベントが出てきたときに、最初はお手伝いしてどんどん送り出せるような形にしたい

③民間スペースを活用して「こんなことしてみたいな」を出し合おう

コジマとしてやってみたいこと

- ・「クロス販売」
手芸品×ミシン
野菜×調理家電
など

コジマとして避けたいこと

- ・大きな音の出る出店
- ・飲食後の容器の処分に手間が必要なもの
- ・回転率が著しく悪く、滞留時間の長いイベント
- ・コジマ扱いの商品の販売
- ・開催会場の販売に関連・重複してしまうブースの出店
- ・出店者さんが、出店の持ち場で飲食すること

民間スペースでやってみたいこと

- ・ファミリー・キッズ向けのイベント
- ・ファッションショー
(子ども、ママ、障害者、シニア)
- ・イベント開催ごとにテーマや主催を変える
- ・イベント広報支援
(シェア)
- ・企業×市民のコラボ企画
- ・お絵かき教室
- ・路上パフォーマー祭り
- ・屋外ディスコ
- ・占いフェス
- ・地域資源を活かしたもの
- ・営業時間前に広場で「ラジオ体操」を皆でできるように
- ・コジマの広場で「むかし遊び」を子どもたちと楽しむ
- ・コジマで売っている食材で災害時の飲食を体験する
- ・災害発生時、避難場所に
(食料品や備蓄品の提供も期待…)
- ・広場に井戸を掘って、災害時の生活用水の提供を…
- ・市内の美術館紹介（岡本太郎美術館等に来てもらい紹介）
- ・そらとぶとまとのトマトカレー出店
- ・キッチンカー祭り
- ・野菜販売
- ・地元野菜加工品
- ・電動キックボード体験会

使ってみたい場所

- ・公園
- ・老人ホーム
- ・NEXCO中日本コミュニケーション・プラザ川崎

(仮称) 宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト
宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

テーブル

3

民間が保有する地域の間と地域活動をマッチングしよう！

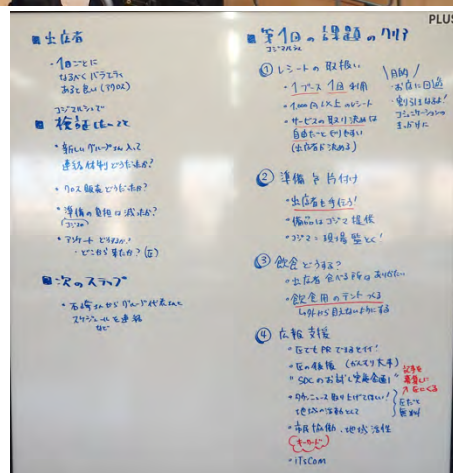
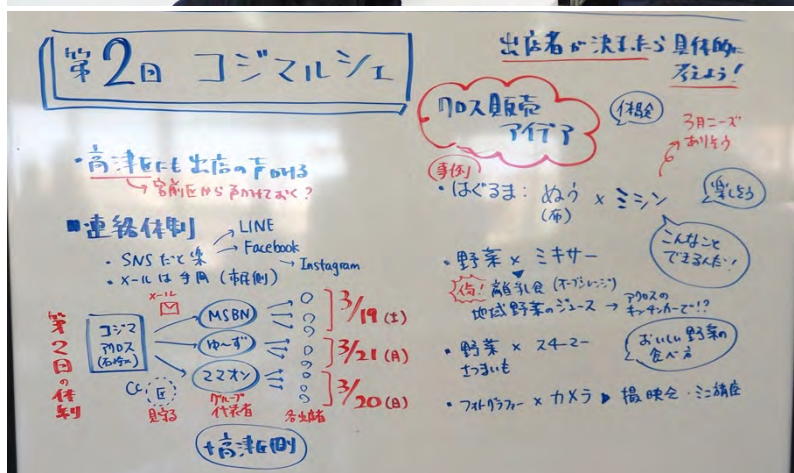
ミーティング2

日 時：令和3年12月5日（日）9：00～11：00

場 所：宮前区役所4階 大会議室

ミーティングの目的

- ・第2回コジマルシェの可能性の検討
- ・民間企業側と出店側がお互いにメリットとなるような実施方法の検討



(1) 第2回コジマルシェの検討

●日程／出店するグループ

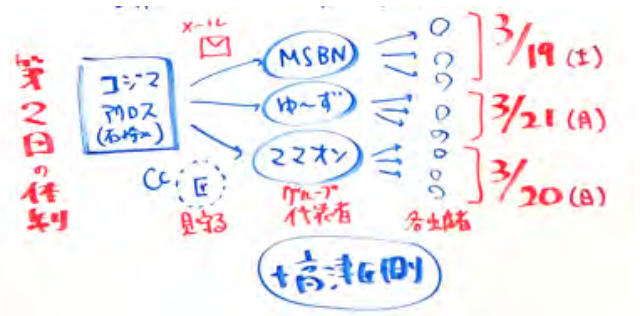
- ・3月19日（土）宮前スモールビジネスネットワーク（MSBN）
 - ・3月20日（日）ママオン
 - ・3月21日（月）ゆ〜ずツクルブ
- （参考：2週12日（土）・4週26日（土）：朝市（野菜））

●出店者について

- ・1日ごとになるべくバラエティあることで、お客様が回遊して様々な作品を楽しむことが理想的（コジマ・アクロスソリューション）
- ・日ごとに店出するグループ（ネットワーク）を分けることによって、連日出店による出店者側（とくにネットワークの代表者）の負担を軽減する
- ・2回目はまずは今回のつながりをベースに、お試しラウンドテーブルにご参加いただいた出店者グループに出店いただく。出店者を公募するかなどは今後の検討事項。

●第2回コジマルシェの体制

- ・第2回は区（森山さん）を通さず、コジマ／アクロスソリューションと出店者グループ代表者が直接やりとりをする。
- ・区は直接的な連携を後押しするため、「見守る」という姿勢でフォローし、適宜サポートする。



●連絡手段

- ・市民側は SNS（LINE、Facebook、Instagram など）だと楽でメールは手間
- ・企業側は SNS のやりとりは難しい
- ・コジマ／アクロス→グループ代表：メールでのやりとりとする
- ・グループ代表→各出店者：それぞれが使っている媒体で連絡する

●今後の課題／検討事項

- ・企業と出店グループ（代表および各出店者）との連絡体制について
- ・出店者の集め方：公募とするかなど

[クロス販売のアイデア]

●出店者が決まったら具体的にどのようなクロスができるか考えよう

- ・クロス販売を1つは実現できるといい！

●縫う（布）×ミシン：手さげ袋などの手づくり品

- ・2月、3月はミシンのニーズはある（コジマ）
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた時にマスクがないということでかなり売れた（コジマ）

- ・作家さんは使い慣れたミシンがあるので、使っているものを売るというよりは、ミシンがあると色々なものが作れるとわかって、使ってみようかなと思わせるのが出店者の役割では？
- ・作っている人の脇にミシンを置かせてもらおうとか、ミシン使っているのを見てもらい楽しそうというのが伝われば十分（コジマ）
- ・ミシンを体験できる場もあるといいのでは。店内でミシン体験できます等のポップがあればいいかもしれない
- ・ミシンのニーズ：幼稚園や小学校の手さげ袋など。一部幼稚園では、手作り品であることが求められる。作るのが苦手な人は手作り品を買うこともある。
- ・ミシンは興味がある人が限られていると思うので、広く関心を引く家電でも良さそう

●野菜×ミキサー：地域野菜を使ったジュース

- ・農園が参加するのであれば、コジマで売っているジューサーで地域野菜を使ったジュースなどの試飲などができると良いのではないかな。客層が広がるのではないかな。
- ・ジュースはすぐに試飲ができて、人の流れを滞らせることなく体験できることがメリットでもある。
- ・アクロスソリューションのキッチンカーでやることは可能。宮前区や高津区で採れる野菜を使って何か出したいと思っていた。（アクロスソリューション）

●野菜×オープンレンジ：手づくり離乳食

- ・離乳食（オープンレンジ）の作り方など実施できる。（ママオン）
- ・とても人気のブースで、ニーズが高い。
- ・作り方を検索しても、すごい（レベルが高い）ものしか出てこないの、簡単に、毎日続けられる、ストックできるといった作り方やアイデアを得られるととても良いと思う

●野菜×スチームオープンレンジ：焼き芋

- ・寒い時期なので屋外でアツアツの野菜が食べられるのは魅力では。
- ・あまり留まらせたくないの、さっと試食、試飲できるものがよい。
- ・美味しい野菜の食べ方を農家さんから聞けるといいのでは。

●フォトグラファー×カメラ：撮影会やミニ講座

- ・代表が様々なカメラを扱えるフォトグラファー。日頃から企業とコラボレーションして企業のカメラを使って講座などを開催している。（ママオン）
- ・カメラを活用した撮影会や、ミニ講座等ができる。

●手形足形アート×プリンター：メモリーアート

- ・プリンターで出力したものに手形・足形をするアートも可能（ママオン）

●店内スペースの活用も検討可能

- ・店内での販売／実演に、マルシェ出店者の素材を使ってもらうというパターンも考えられる。
- ・店内に出店していただくことも調整可能（コジマ）。天気には左右されないことはメリットだが、内容によっては店内での販売に不向きなものもある（アクセサリーなどの細かい作品は、店内のサイン／文字／ポップ等に埋もれてしまう）
- ・店内スペースは、雨天時のバックアップとするために、基本的には外で実施する。

[第1回コジマルシェの課題の改善]

①レシートの取り扱い

- ・ 目的：お店を回遊する、割引になる、出店者の大きな負担にならない範囲でお客さんとのコミュニケーションのきっかけになれば（コジマ）
- ・ 第1回の課題：ルールが曖昧だったため対応に困った（出店側）
- ・ 第2回：
 - ・ 1ブース1回の利用
 - ・ 1,000円以上のレシート
 - ・ サービスの取り決めは自由だとやりやすい（出店者が無理のない範囲で決める）

②準備と片付け

- ・ 第1回の課題：コジマが全ての準備を行った
- ・ 第2回：
 - ・ 出店者もテントやテーブルなどの設営を手伝う
 - ・ 備品は前回と同様にコジマが提供
 - ・ コジマは現場監督のような役割に

③出店者の飲食場所について

- ・ 第2回：
 - ・ 外から見えない囲い付きの飲食用のテントをブースエリアの近くに設置する
 - ・ ブース内を始め、コジマのお客様から見えるところでの飲食は控える

④広報支援

- ・ 区でもPRできると良い。区の後援の取組として“SDCのお試し実施企画！”などと位置付けてホームページへの掲載は可能
- ・ 地域の活動としてタウンニュースに取り上げてほしい（定期的に区役所に来るので、区から情報提供する）
- ・ チラシはコジマで用意可能
- ・ キーワード：市民協働、地域活性
- ・ iTSCOMでも取り上げられると良い

●第2回コジマルシェで検証したいこと

- ・ 新しいグループが入って連絡体制はどうだったか？
- ・ クロス販売はどうだったか？
- ・ コジマの準備（設営）の負担は減ったか？
- ・ 検証すべきことを整理して、アンケートを実施するかを検討する（区）
 ＜案＞イベントの参加者がどこから来たか、シール投票など簡単な方法にする

●次のステップ

- ・ 石崎さんからグループ代表さんにスケジュール、出店者枠などを連絡

(2)ラウンドテーブルの感想

- ・行政職員、事業者さん、企業が一緒になって、地域を盛り上げることをやっていくことがこれからの時代必要だなと改めて感じた。貴重な機会に感謝する。
- ・コジマルシェの第1回がとてもよかったので、次をなんとかやりたいと思っていた。具体的な形としてできてきたことが良かった。今日から出店者に声をかけて具体的に動き始めたいと思う

地元応援

Kojimarche

コジマルシェ

コジマ×ビックカメラ
梶ヶ谷店
1F広場

開催日時
3/19(土)
〜
3/21(月)
11:00~17:00

高津区・宮前区

心がつながるショップが勢ぞろい!

19(土)

貴房



【取扱い商品】
似顔絵

TIDA'shug



【取扱い商品】
駄菓子販売、その他小物

うちだや



【取扱い商品】
手編みの雑貨

poco a poco



【取扱い商品】
リボンを使ったヘアゴム、
雑貨など
しりこじ&ゆこた

chanri_r collection



【取扱い商品】
ハンドメイドキッズ
アクセサリ



【取扱い商品】
ヘアアクセサリ、小物、
マスク等

20(日)

blendees



【取扱い商品】
脳育おもちゃ作り
ワークショップ

いりどりCOLORS



【取扱い商品】
チョコレートグッズ
ドアプレート ボード等
キャトル・アミ



【取扱い商品】
カラーセラピー、
サンキャッチャー
おやつ工房さら



【取扱い商品】
アクリルージュの
ミニペンスタンド
米粉クッキータスタス



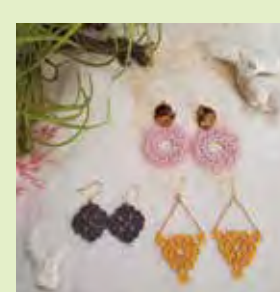
【取扱い商品】
グルテンフリー&
ビーガンの焼き菓子



【取扱い商品】
米粉クッキー

21(月)

nohea lopi



【取扱い商品】
手編みのタティングレース
を使用したアクセサリ
cafe83 (かふえやみい)

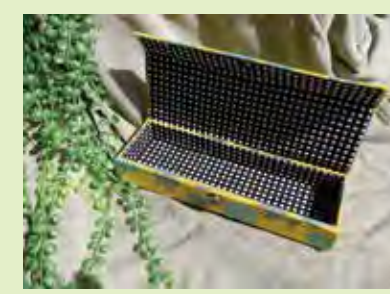
Bonita handmade accessory



【取扱い商品】
ハンドメイドアクセサリ



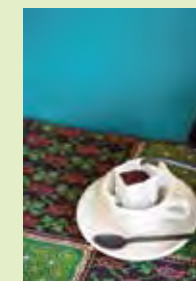
【取扱い商品】
地元野菜を使った
お弁当やスイーツ
みやまえ農の応援隊



【取扱い商品】
ヘアアクセサリ、小物、
マスク等
珈琲丸



【取扱い商品】
野菜販売



【取扱い商品】
コーヒー豆の販売

19(土)~21(月)

Mottiのハンド
メイドショップ

【取扱い商品】
ハンドメイドキャンドル、
ハンドメイドアクセサリ、
ベビーグッズ等

もちすず



【取扱い商品】
おはぎ

19(土)・20(日)

chocotto



【取扱い商品】
レジンアクセサリ、
小物雑貨

工房 紬



【取扱い商品】
雑貨、アクセサリ

20(日)・21(月)

Wako&Akie



【取扱い商品】
アクリルエコタワシ、
移動ポケット、髪留め、
ガーゼマスク、他布製品等

studio Maple



【取扱い商品】
ニット小物、マクラメ、
ビーズアクセサリ

※当日は、コロナ感染予防対策を徹底して実施致します。※感染状況によっては、中止とさせていただきます場合がございます。※雨天の場合は、イベントを中止致します。

BicCamera
GROUP

くらし応援

コジマ

後援：宮前区役所